

國學院大學學術情報リポジトリ

平成二十四年度國學院大學人間開発学会第四回大会
公開シンポジウム：
学生の可能性を引き出す初年次教育

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-02-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: [國學院大學人間開発学会] メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/00001236

「平成二十四年度 國學院大學人間開発学会第四回大会」 公開シンポジウム

学生の可能性を引き出す初年次教育

「シンポジウムの趣意」

現在の日本の社会で、若者が将来の夢あるいはこうなりたい自分を見い出すことはそんなに容易ではありません。大学生になるという選択も、以前に比べ能動的というよりも自動的ともいえるような現状にあります。人口動態、経済の状況等を考えるとこの傾向はさらに加速していくことが予想されます。

國學院大學人間開発学部では、理念として、学生の可能性を拓き、開発することをめざし、がんばる人を応援することを掲げています。学生の声に耳を傾け、その人自身もまだ気づいていない能力を共に伸ばそうとする、壮大な構想です。教員、指導者の育成の学部として、この理念のもと、学生自らの教育観の形成をもめざしています。

大学を取り巻く大きな流れのなかに、本学部もまた置かれていることを考えると、テーマに掲げた「可能性を引き出す」ということの重要性が浮かび上がります。本シンポジウムでは特に大学入学年度の「初年次教育」に焦点を当て、大学で学ぶとはどういうことなのか、自分の将来にどのようなふうにならなければならないのか、といった学生、教員にとって大きな課題を考えていきます。

発題① 「國學院大學における初年次教育の現状と展望」 赤井益久（國學院大學学長・文学部教授）

発題② 「教員養成系学部における初年次教育のありかた―教員が考える初年次教育―」 寺本貴啓（國學院大學人間開発学部初等教育学科専任講師）

発題③ 「私の「導入基礎演習」―文献の読み取り、報告、質疑と意見交換への導入―」 藤田和也（國學院大學人間開発学部健康体育学科教授）

発題④ 「関西国際大学における初年次教育の取組―『学習技術』の展開を例として―」 上村和美（関西国際大学人間科学部ビジネス行動学科教授）

発題⑤ 「知的自律と自己の発達を支援する初年次教育の取組」 井下千以子（桜美林大学基盤研究院心理・教育学系教授）



総合討論

- □ 「総合講座（集団宿泊研修）」写真スライドショー
- 「学生発表「導入基礎演習で学んだもの」
- 初等教育学科1年生（宮原大樹 坂本正徳・寺本貴啓ルーム）
- 健康体育学科1年生（山田泰基 藤田和也ルーム）
- 初等教育学科4年生（山崎明香 寺本貴啓ゼミ）
- 健康体育学科3年生（河津祐介 藤田和也ゼミ）

コーディネーター・司会 成田信子（國學院大學人間開発学部初等教育学科教授）

日時…平成二十四年十一月一日（土）十三時～十七時三十分
会場…國學院大學たまプラーザキャンパスAV1教室
主催…國學院大學人間開発学会・國學院大學人間開発学部
共催…國學院大學教育開発推進機構